

令和5年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）

（学校番号 s 4 8）

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、調和の取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価		
年度目標							年度評価（月日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日 令和 年 月 日	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】 中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生が相互に高め合える体制づくりを進めることにより進学実績も向上している。</p> <p>【課題】 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえ、「学び合い」や「個別最適な学び」の推進、英語4技能の向上への取組、ICT等を活用した学習方法の一層の充実を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫校の特性を活かした指導の充実 ・中高連携した授業の充実 ・新学習指導要領や高大接続改革、ICT等を活用した学習方法の一層の充実 ・教員の指導力向上と授業改善による質の高い学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①中高合同の教育活動を充実させる。 ②高校教員による中学授業などにより連携の充実を図る。 ③全学年で導入したiPadを授業で活用する。また、ICT等を活用し在宅学習を支援する。 ④AL等による授業改善や大学入試改革に対応した学習指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①評価アンケートでの肯定的回答数(率)。 ②中高連携授業の充実が図られたか。 ③生徒のiPad活用状況。ICT等を活用した学習支援が図られたか。 ④評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数(率)。 					
2	<p>【現状】 第1志望を諦めない高い志の育成は定着してきている。学業、部活動、学校行事と「文武両道」にバランスの取れた教育活動を展開し成果を上げている。</p> <p>【課題】 高い志の育成に引き続き取り組むとともに、生徒が主語となる教育の推進、複数チャンネルによる「寄り添う」支援の充実を図ることが求められる。</p> <p>また、「やりがい」を意識した働き方改革を踏まえつつ、伝統校としての良さを継承し、行事や部活動等、生徒一人一人の学校生活の充実を支援していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高い志を育てる計画的で戦略的な学習指導、進路指導の実施 ・生徒、保護者と連携した、個に応じた指導の充実 ・ICT等を活用した働き方改革の実施 ・部活動や学校行事の奨励と積極的支援 ・主権者意識を高め「生徒が主語となる」生徒指導の推進 ・「心のケア」を支える教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①「将来の選択」を充実させる観点から大学入学共通テスト「フル受験」を推奨する。 ②個人面談の充実を図り、生徒の意欲を引き出し、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。 ③業務改善に資するICT等の活用を推進する。 ④「部活動に係る活動方針」を踏まえ、積極的な活動支援を行う。 ④挨拶の励行、登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等、生徒が自ら考えて取り組む生徒指導を推進する。 ⑤柔軟な日程調整等、生徒相談の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①大学入学共通テスト900点満点受験者数(率)。 ②個人面談を生徒一人につき年3回以上実施できたか。 ③ICT等を活用した業務改善数 ④学校行事や部活動等の活動状況及び成果（表彰数）。 ④評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数(率)。 ⑤不安を抱える生徒の学校生活を支援できたか。 					
3	<p>【現状】 国際理解教育は、コロナ禍においても、交換留学生の受入れや学校行事での留学生との交流等、安全に配慮しつつ国際交流に取り組んでいる。開かれた学校づくりは、連絡メール(e-pa)やHPを活用し、生徒・保護者への情報提供や教育活動の発信を行っている。</p> <p>【課題】 生徒の安全に配慮しつつ、海外交流や、国際的視野での教育活動を一層充実させる必要がある。また、保護者や受検生等のニーズに応え、土曜公開授業、学校説明会やその他の地域連携の機会を活用し、本校の教育活動を積極的に発信していくことが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な計画に基づいた国際理解教育の更なる充実 ・さいたま市の国際交流事業等の積極的な活用 ・積極的な学校情報の発信 ・地域連携の充実 ・生徒募集の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①安全な計画に基づき、国際交流事業を推進する。また、SDGs及びSTEAMSの視点を取り入れ、「総合的な探究の時間」等を活用して、国際的視野で教育活動を展開する。 ②さいたま市の事業等の活用による国際交流機会の提供。 ③e-pa、HP等で学校の情報を積極的に発信する。 ④コミュニティスクール（学校運営協議会）の推進 ⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。 ⑥校外学校説明会や中学校訪問等の機会を活用し、保護者や受検生等への積極的な情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①国際交流事業への参加生徒の満足度と無事故の実施。「総探」等における生徒の発表等の成果物。 ②市事業等への参加生徒数。 ③情報発信数と閲覧件数。 ④学校運営協議会の各学期1回の実施。 ⑤土曜公開授業の公開数、学校説明会の参加者数。 ⑥生徒募集活動の実施数。 					